# 点検・整備チェックリスト

（販売店にチェック・記入を依頼してください）

✓：異状無し　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他　－：装着されていない部品

| 点検の箇所 | 点検項目 | 販売時 | 1回目 2か月 | 2回目 6か月 | 3回目 1年 | 4回目 1年半 | 5回目 2年 | 6回目 2年半 | 7回目 3年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フレーム・フロントフォーク | 変形、折損、ヒビ割れは無いか | | | | | | | | |
| | ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗は無いか | | | | | | | | |
| ハンドル | 固定は確実か、高さ、ハンドルステムの挿入量は適正か | | | | | | | | |
| | 変形、折損、軽く回転するか | | | | | | | | |
| どろよけ | 変形、取り付けは適正か | | | | | | | | |
| キャリヤ | 変形、ガタ、折損は無いか | | | | | | | | |
| 車輪 | 固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していないか | | | | | | | | |
| タイヤ | 切傷、摩耗は無いか、空気圧は適正か | | | | | | | | |
| リム | 変形、振れは無いか | | | | | | | | |
| スポーク | 緩み、折れ曲がり、切損は無いか | | | | | | | | |
| ハブ | ハブナットの緩み、玉押しのガタは無いか | | | | | | | | |
| ギヤクランク | ギヤ板の振れ、ヒビ入り(軽合金)、曲がり、ガタは無いか、締め付けは十分か | | | | | | | | |
| ペダル | 固定は確実か、取り付け部（クランク側）にバリは無いか | | | | | | | | |
| | 軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじの緩み、ガタ、折損は無いか | | | | | | | | |
| ブレーキ | 利き具合は適正か | | | | | | | | |
| | レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にさびやほつれは無いか | | | | | | | | |
| | ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング）の減りは無いか | | | | | | | | |
| 変速機 | 作動は確実か | | | | | | | | |
| ベルト | ヒビ入り、歯欠け、折損は無いか、張りは適正か | | | | | | | | |
| チェーン | 油切れ、たるみは無いか、ギヤとの噛み合わせは適正か | | | | | | | | |
| サドル | 固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か | | | | | | | | |
| | 取り付け位置、ガタ、損傷は無いか | | | | | | | | |
| ライト | 点灯、照射は正常か、破損は無いか、コード切れは無いか | | | | | | | | |
| リフレクター | 汚れ、ガタ、破損は無いか、点灯（テールランプ付）は正常か | | | | | | | | |
| スタンド | 作動は正常か、ガタ、変形、折損は無いか | | | | | | | | |
| ベル・ブザー | 作動は正常か、変形、緩みは無いか、よく鳴るか | | | | | | | | |
| 錠 | 作動は正常か、変形、緩みは無いか | | | | | | | | |
| その他 | 各部のねじの緩み、損傷は無いか | | | | | | | | |
| 注油箇所 | チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、バッテリーロックキー穴、錠前キー穴 | | | | | | | | |

| 実施店 | 実施者氏名 | 実施日 | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ | 年 ／ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください | | | | | | | | | | |
| 品番 | 車体番号 | 確認印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501　大阪府柏原市片山町13番13号



NYT1480 G0314-0

Panasonic®

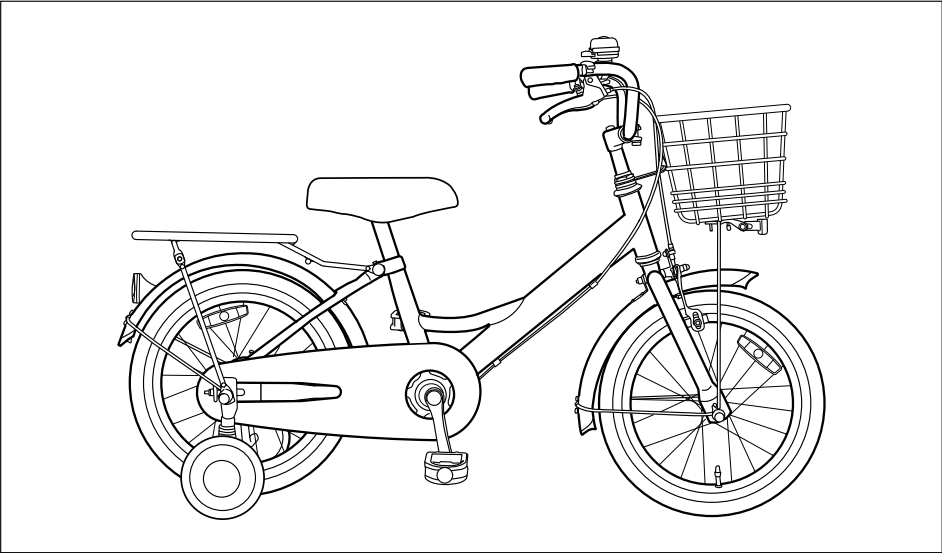
# 取扱説明書

## 幼児用自転車

ANONE

品番 B-ANK61
B-ANK81

乗るまえに

必要なとき

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用まえに「安全上のご注意」（2～7ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- 保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

**お願い**

- 安全のため、ヘルメットを着用してください。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

**お知らせ**

- この自転車は、チャイルドシートを取り付けることはできません。
- この取扱説明書に記載のイラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

保証書別添付

## もくじ

乗るまえに
- 安全上のご注意…… 2
- 各部のなまえ…… 8
- 乗るまえの点検と調整…… 10
- 正しい取り扱い方法…… 16

必要なとき
- お手入れ／注油について…… 18
- 定期点検…… 20
- 保管／廃棄…… 21
- 盗難補償／アフターサービス…… 22
- 自転車安全基準／BAAマーク…… 23
- オプション（別売部品）…… 24
- 仕様…… 25

# 安全上のご注意(1)

必ずお守りください



人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ 注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

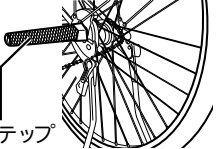
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

| | |
|---|---|
|  | してはいけない内容です。 |
| ● | 実行しなければならない内容です。 |
|  | 気をつけていただく内容です。 |

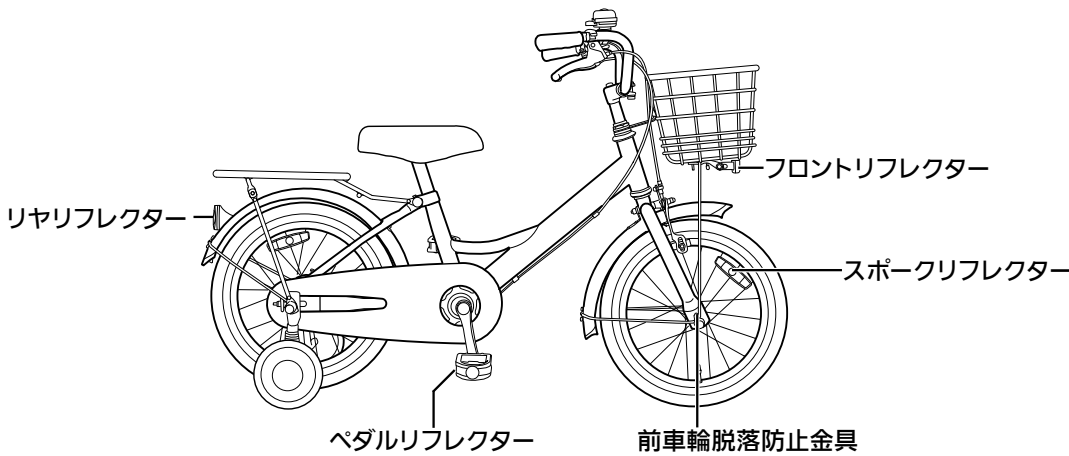
## ■保護者の方にお願い

⚠ 警告

**■保護者が必ず本書を読み、正しい乗りかた、禁止事項、使用上の注意事項を指導する**

 お子様が転倒や衝突事故などによるけがのおそれがあります。

●お子様がブレーキを操作することができることをご確認ください。
●サドルに腰を下ろしたとき、両足のかかとが地面にべったり着いていることをご確認ください。
●車両(自動車・自転車など)通行の多い場所では乗せないでください。特に曲がり角からの飛び出しには注意させてください。空地や公園など安全な場所で乗るようご指導ください。
●使用時は十分なご注意を願うと共に安全のため必ずつきそってあげてください。
●坂道は上り、下りとも危険です。坂道では遊ばせないでください。
●坂道や周囲に迷惑のかかる場所での駐輪は、やめさせてください。
●雨天および夜間は乗せないでください。
●交通安全のため、交通法規を守るようご指導ください。
●お子様が自転車に乗車するときには、安全のため必ずヘルメットを着用させてください。
●前輪錠は取り付けられません。錠が必要な場合はワイヤ錠(別売)をご利用ください。
●回転する部分(車輪・ギヤクランク・チェーンなど)に手や足を近づけないようご指導ください。

両足のかかとが地面にべったり着くように

⚠ 警告

**■改造や分解、また指定以外の注油はしない**

 禁止
部品の破損や、ブレーキが利かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

**■ハブステップなどの突出物を装着しない**

禁止

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

**■悪路荒野での使用はしない**

 禁止
転倒によるけがのおそれがあります。
●この自転車は一般(普通)道路専用です。

**■調整後の締め付けを確認せずに乗らない(車輪の脱着やサドルなど)**

 禁止
車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

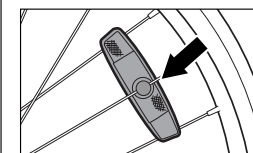
**■安全装置は取り外さない**

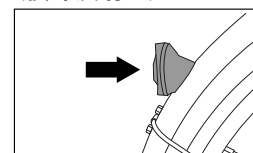
 禁止
外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

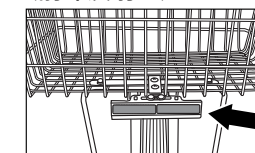
**■サドルやハンドルは「はめ合わせ限界標識」が見える状態で乗らない**

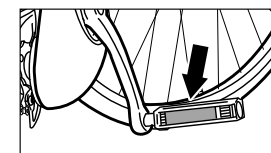
 禁止
サドルやハンドルの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

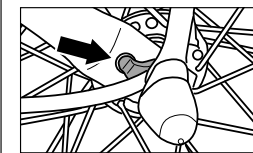
## ■安全装置

スポークリフレクター

横からの光を反射します

リヤリフレクター
(後部反射器)

後からの光を反射します

フロントリフレクター
(前部反射器)

前からの光を反射します

ペダルリフレクター

前後からの光を反射します

前車輪脱落防止金具

前車輪の脱落を防止します

※リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
(リヤリフレクターが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

# 安全上のご注意(2)

必ずお守りください



## ■乗るまえに

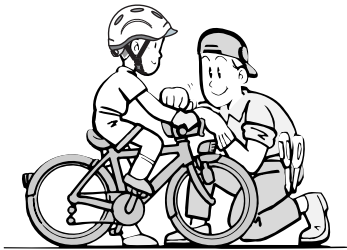
### まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

### 必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組み立ておよび未調整の自転車は使用しないでください。

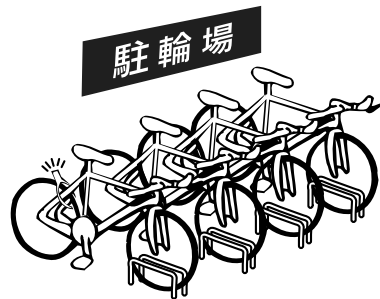
### 安全な服装で乗ってください

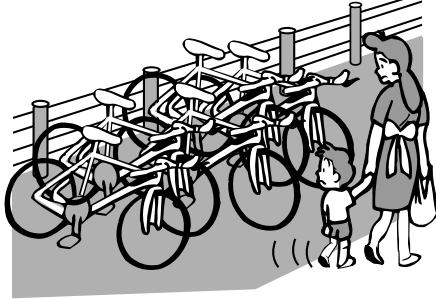
(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っ掛かりなどを防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、必ずヘルメットをかぶらせてください。

### 乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

## ■乗ったあとは

### 決められた場所に駐輪してください

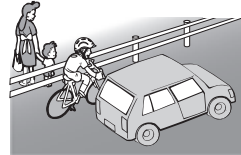
●駐輪するときは、ほかの人に迷惑にならないよう、決められた場所に止めましょう。
●盗難防止のため、必ずかぎをかけましょう。

### 自転車放置禁止

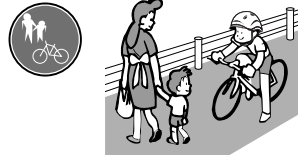
●自転車の放置は、ほかの人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

## ■自転車の交通安全ルールを守りましょう

(幼児、子供車に限定せず一般としてのルールが記載してあります。)

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

### 自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のある所は自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。(路側帯がある場合でも、自転車の通行は道路の左側部分に設けられた路側帯に限定されます。)

### 次の様な場合は、歩道通行ができます

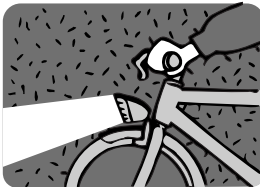
(そのときにも歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行)
●自転車歩道通行可の標識などで指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70 歳以上の場合。
●車道や交通の状況から見てやむを得ない場合。

### 30 kg を超える荷物を積載しない

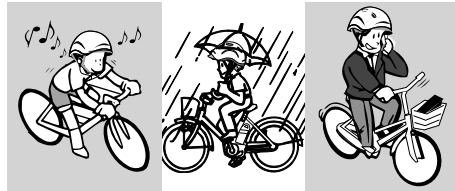
●ただし、自転車や取扱説明書などへ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

### 交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出るときは、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

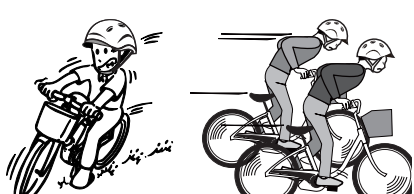
### 夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の点滅状態や無灯火での運転は交通違反です。
●暗い所ではライトをつけて通行しましょう。

### 次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘差し運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。

### 2 人乗り、並進、飲酒運転は禁止

●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

### 乱暴な乗りかたはしない

●ジグザグ運転や競争はしない
●手ばなし運転はしない

# 安全上のご注意(3)

必ずお守りください

けがをせずに、ほかの人にも迷惑をかけないために、乗りかたや交通ルールを守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。

乗るまえに

## 交通事故を防ぐために

**自動車や子供に注意！**
**安全を確認し、乗りましょう**

**車の横を走るときに！**

**開くドアや人の飛び出しに注意する**

⚠

**学校や公園が近くにあるときに！**

**子供の飛び出しに注意する**

⚠

**交差点を通るときに！**

**左折車に巻き込まれないように注意する**

## 転倒事故を防ぐために

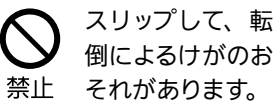
### こんなとき

**■雨・風・雪のひどいときは乗らない**

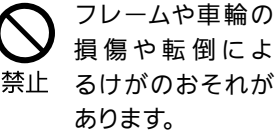
禁止

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

**■合図以外は、ハンドルから手を離さない**

禁止

バランスが取りにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

### こんな場所

**■滑りやすい所では乗らない（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）**

禁止

スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

**■凹凸の激しい所を走らない（歩道の段差や、溝など）**

禁止

フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

### こんな乗りかた

**■巻き込みやすいものを車輪やギヤに近接させて乗らない（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）**

禁止

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

**■傘やステッキ、釣りざおなどを車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない**

禁止

車輪に巻き込み、ほかの人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

**■土踏まずやかかとでペダルを踏まない**

禁止

カーブでつま先が前車輪に当たり転倒によるけがのおそれがあります。

**■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない**

禁止

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

**■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない**

禁止

荷物やひもが、車輪に巻き込まれ、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

**■カーブで曲がる側のペダルを下げない**

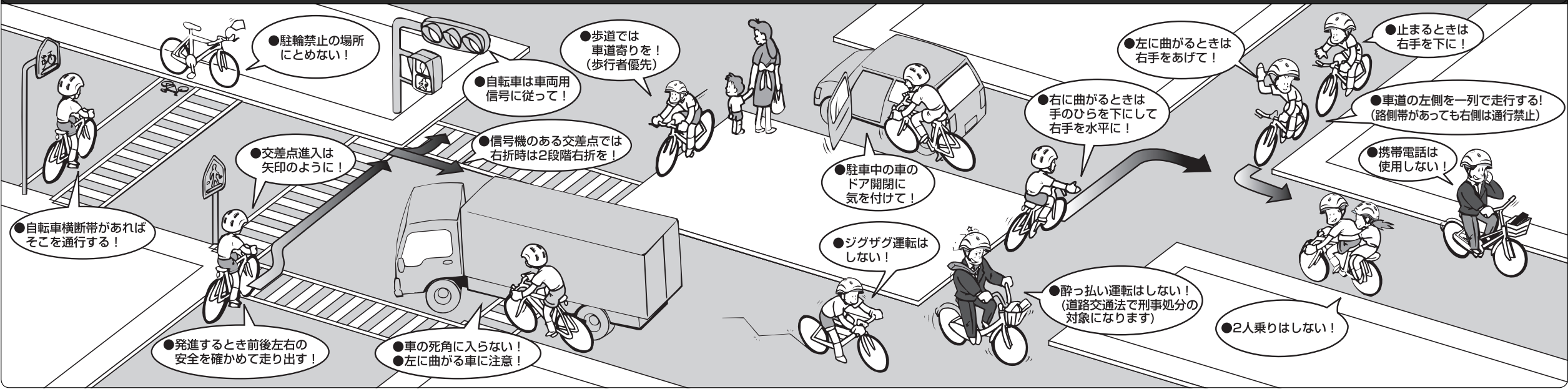
禁止

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

### こんな使いかた

**■走行以外に使わない（踏み台代わりなど）**

禁止

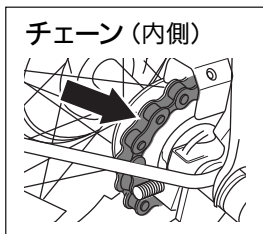
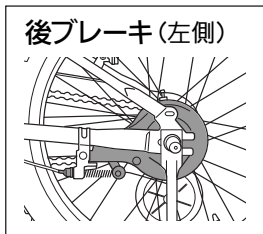
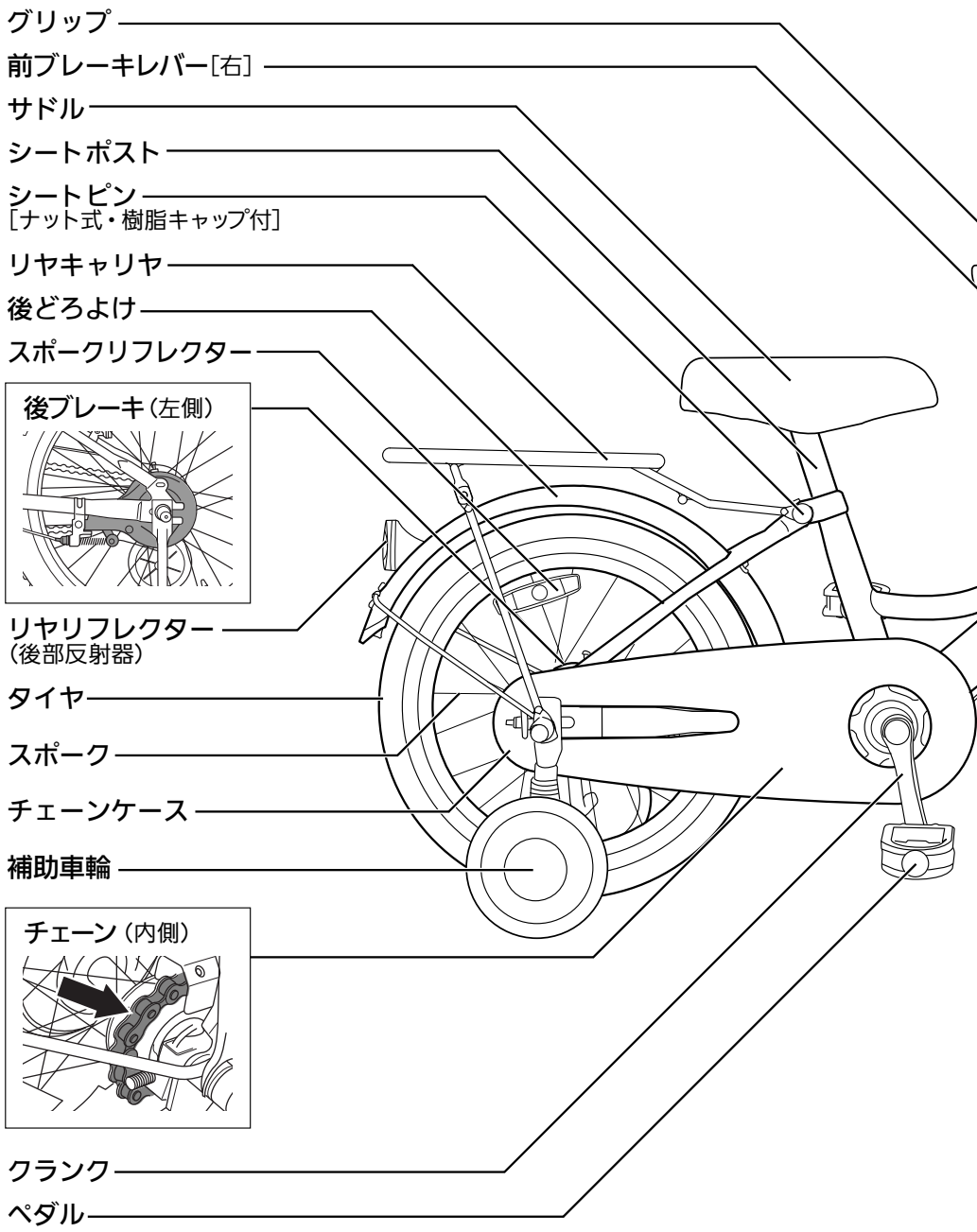
転倒によるけがのおそれがあります。

**■スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない**

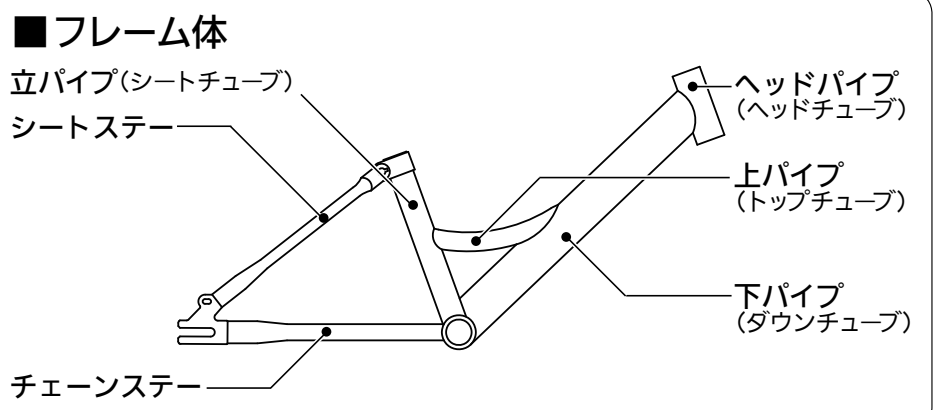
禁止

車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

乗るまえに

## 自転車で道を走るときのルール・マナー

# 各部のなまえ



グリップ
前ブレーキレバー[右]
サドル
シートポスト
シートピン
[ナット式・樹脂キャップ付]
リヤキャリヤ
後どろよけ
スポークリフレクター
後ブレーキ(左側)
リヤリフレクター
(後部反射器)
タイヤ
スポーク
チェーンケース
補助車輪
チェーン(内側)
クランク
ペダル
ベル
ハンドルバー
後ブレーキレバー[左]
ブレーキワイヤ
ハンドルステム
■品番表示
●品番の見方(例:B-ANK61 の場合)
B-ANK61 R
品番
色
■車体番号(刻印位置 右側)
9 文字(数字と英字)で表示しています。
防犯登録に必要です。
バスケット
フロントリフレクター
バスケットステー
前どろよけ
前ブレーキ
フロントフォーク
ハブ
タイヤバルブ
リム
■フレーム体
立パイプ(シートチューブ)
シートステー
チェーンステー
ヘッドパイプ
(ヘッドチューブ)
上パイプ
(トップチューブ)
下パイプ
(ダウンチューブ)
■付属品
自転車本体の他に下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。
●取扱説明書 ●保証書 ●ご愛用者登録はがき(プライバシー保護シール付)

# 乗るまえの点検と調整(1)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。



安全にご乗車いただくため、乗るまえに次の点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

## ⚠ 警告

**■各部にガタや緩みおよび、変形・ひび割れなどがあるときは乗らない**

折れて転倒による、けがのおそれがあります。

- ●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- ●フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わったあとは、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常が無いか点検してください。
- ●スポークが 1 本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
- ●ハンドルを締め付けてもガタ・緩みがあるときは、すぐに乗るのを止め、販売店で点検をしてください。

**■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない**

ハンドルステムが折れて転倒による、けがのおそれがあります。

●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

**■シートポストのはめ合わせ限界標識が、見えるまで上げない**

シートポストが折れて転倒による、けがのおそれがあります。

**■乗るまえの点検は、必ず実施する**

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

- ●前後ブレーキの利き、作動の点検をしてください。
- ●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- ●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- ●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

**■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは乗らない**

禁止

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

●異常があったときは販売店にご相談ください。



## ■自転車部品の点検

**リヤリフレクター**
◎割れや、汚れは無いか?
◎反射面の角度は適切か?
90°
90°

**サドル・シートポスト**（☞ 13 ページ）
◎サドルに座って、両足のつま先が、地面に着くか?
◎はめ合わせ限界標識が、見えていないか?
◎シートポストの固定は、確実か?

**補助車輪**
◎固定は確実か?

**車 輪**〈前・後〉
◎固定は確実か?
◎リムに振れ、変形は無いか?
◎スポークに曲がり、切れは無いか?
◎ハブにがたつきは無いか?
◎タイヤに摩耗、切傷は無いか?
異物は付いていないか?
空気圧は適正か?（☞ 14 ページ）

**グリップ**〈左・右〉
◎ひび割れは無いか?
◎抜けは無いか?　◎回らないか?

**ベ ル**
◎よく鳴るか?　◎固定は確実か?

**ブレーキレバー**〈前・後〉（☞ 14～15 ページ）
◎よく利くか?
◎固定は確実か?
◎作動は円滑か?
◎ワイヤのさびや ほつれは無いか?

**ハンドル・ハンドルステム**（☞ 12 ページ）
◎固定は確実か?
◎はめ合わせ限界標識が、見えていないか?

**フレーム**
◎ひび割れや変形は無いか?

**バスケット**
◎がたつきは、無いか?

**どろよけ**〈前・後〉
◎がたつきは、無いか?
◎タイヤに当たっていないか?

**フロント リフレクター**
◎割れやがたつき、汚れは無いか?
◎反射面の角度は適切か?
90°
90°

**スポークリフレクター**
◎割れやがたつきは、無いか?

**前ブレーキ**（ブレーキブロック）（☞ 14～15 ページ）
◎すりへっていないか?
◎異物は付いていないか?

**フロントフォーク**
◎ひび割れや変形は無いか?

**ハブナット**
◎車輪にがたつきは、無いか?

**リヤキャリヤ**
◎固定は確実か?

**ペダル・ギヤクランク**
◎がたつきは、無いか?

**ペダルリフレクター**
◎割れやがたつき、汚れは無いか?

**チェーン**
◎空回りしないか?
◎小石などが挟まってないか?
◎歯飛びや異常な音（バリバリ音など）は無いか?
◎たるみが大きくないか?

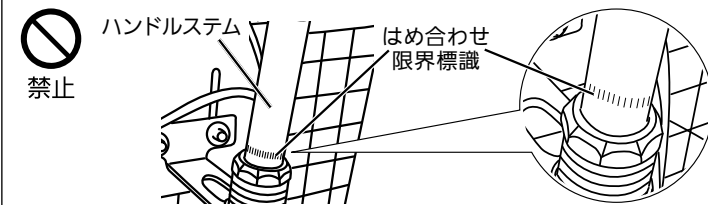
# 乗るまえの点検と調整(2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

## ■ハンドルの高さ調整(販売店に依頼してください)

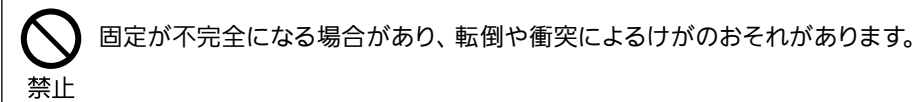
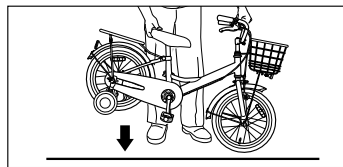
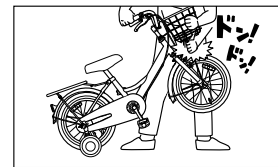
⚠ 警告

**■ハンドルステムのはめ合わせ限界標識が見えるまで上げない**

禁止

ハンドルステムが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

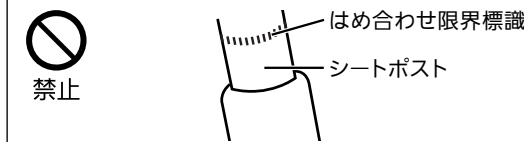
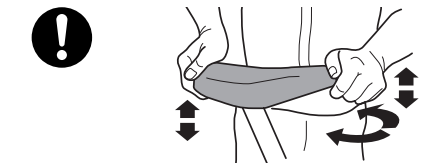
**■ハンドルステムを一番下まで下げない**

禁止

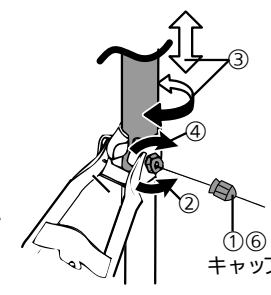
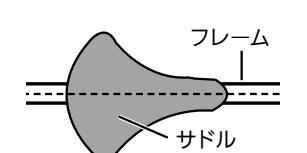
固定が不完全になる場合があり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

## ■車輪の締め付け部品の固定

車輪を10cm 程度の高さから落とし、車輪などの締め付け部にがたつきが無いこと。(前後とも)

車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきが無いこと。

## ■サドルの調整

**■はめ合わせ限界標識が見えるまで上げない**

禁止

**■調整後は必ずがたつきやずれが無いか点検をする**

シートポストが折れたり、固定が不安定になったりし転倒によるけがのおそれがあります。

**●高さと向きの調整**

①キャップを外す。
②シートピンナットを緩める。
③サドルの高さ、向きを調整する。
④シートピンナットを締める。
締付トルク
(12 ～15) N･m {(120 ～150)kgf･cm}
⑤がたつきやずれが無いことを確認する。
⑥キャップをつける。

**●サドルの正しい方向と角度**

フレームと平行に合わせる。

**お知らせ**

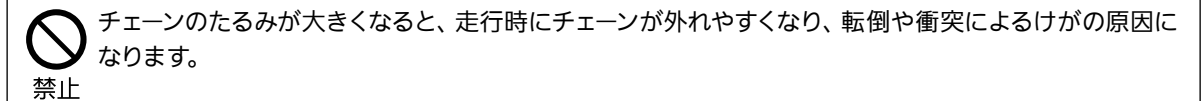
●上下方向の角度の調整はできません。

## ■チェーンの調整(販売店に依頼してください)

⚠ 警告

**■チェーンがたるんだまま走行しない**

禁止

チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり、転倒や衝突によるけがの原因になります。

# 乗るまえの点検と調整(3)



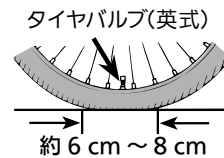


## ■空気圧の調整(前後のタイヤ)

**●適正な空気圧**

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 6 cm ～ 8 cm 程度が、適正です。
圧力計の付いたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
250 kPa ～ 350 kPa{2.5 kgf/cm$^2$ ～ 3.5 kgf/cm$^2$} が適正です。

タイヤバルブ(英式)

約 6 cm ～ 8 cm

**お知らせ**

●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

**●空気の入れ方**

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

## ■タイヤについて

**■パンクしたまま走行しない**

ハンドルがとられ、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

禁止

**お願い**

●走行まえにタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷する原因になります。
●タイヤの空気圧は 250 kPa{2.5 kgf/cm$^2$} 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐにふき取ってください。

## ■ブレーキの調整(販売店に依頼してください)

**■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない**

ブレーキが利かなくなったり、利き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

禁止

●ブレーキが利かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

**■ロックナットは確実に締め付ける**

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

**■音鳴りがしたり、ブレーキが利き過ぎたりする場合は使用しない**

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●すぐに販売店で点検を受けてください。

禁止

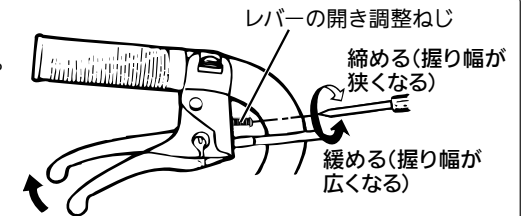
**お知らせ**

●平成 25 年 12 月 1 日より、制動装置(ブレーキ) に不備のある自転車と認められる自転車が運転されているときは警察官が停止させ検査ができるようになりました。停止や検査を拒んだり、運転継続禁止命令に従わなかった場合は罰金が科せられる場合があります。
※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

**●ブレーキレバーの開き調整**

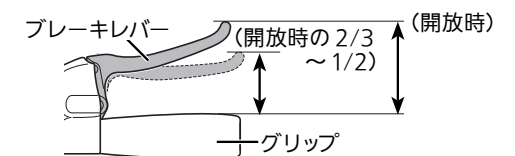
手の握り幅に合うように、調整ねじを回して調整してください。

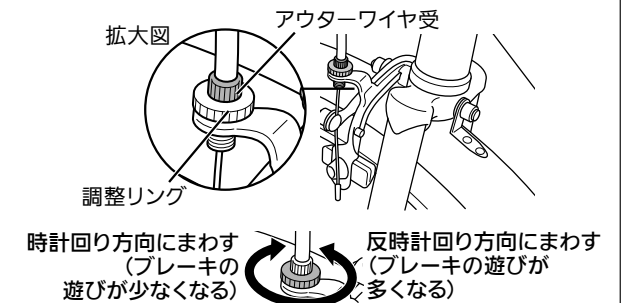
**お知らせ**

●レバーの開き調整ねじの無い機種もあります。

**●ブレーキレバーとグリップの間隔**

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが利きだすように、調整してください。

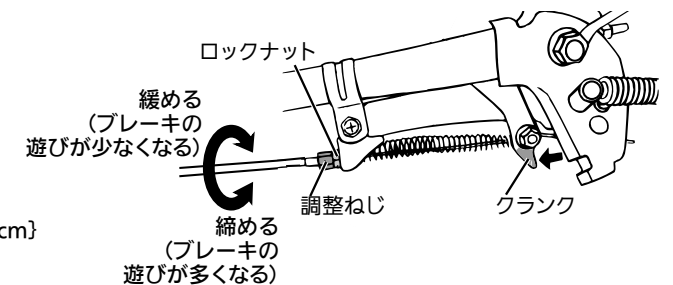
**お願い**

●上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

**●前ブレーキの調整**

①アウターワイヤ受を持ちながら調整リングを回して調整する。
②走行してブレーキの利きを確認する。

**●後ブレーキの調整**

①ロックナットを緩める。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの利きを確認する。
④調整ねじが緩まないよう、ロックナットを十分に締め付ける。
締付トルク : 1 N·m~2 N·m {10 kgf·cm~20 kgf·cm}

**お知らせ**

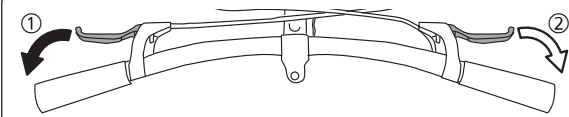
●雨や水がかかったり、湿気により、ブレーキをかけたときに音が出ることがありますが、異常ではありません。

## ■ブレーキのかけかた

⚠警告

**■雨天時や下り坂ではスピードを出さない**

禁止 制動距離が長くなったり、スリップしやすくなったりするため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

**■前ブレーキだけを強くかけない**

禁止 車輪がロックし、自転車が前方に転倒し、けがのおそれがあります。

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

**お願い**

- ●急な坂道のときは、降りて押してください。
- ●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度が出すぎないように走行してください。
- ●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
- ●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

## ■乗車について

⚠警告

**■スピードをだしすぎない**

禁止 標準常用速度 6 km/h

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

**■乗車したまま段差の上り下りはしない（車道から歩道への段差など）**

禁止 補助車輪が段差に引っ掛かり、転倒によるけがのおそれがあります。

●自転車から降りて、押してください。

## ■ 補助車輪について

⚠警告

**■補助車輪の取り付け、取り外しはしない**

禁止 事故や転倒によるけがのおそれがありますので、販売店にて行ってください。

## ■バスケットについて

⚠警告

**■積載条件から外れる荷物を積まない**

禁止 ブレーキが利きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

**■バスケットを持って持ち上げない**

禁止 破損、落下によるけがのおそれがあります。

〈積載条件〉

| バスケット | |
|---|---|
| 最大積載質量 | 積載物の大きさ限度 |
| 1 kg まで | バスケットにおさまる大きさ（前方が見やすい高さまで） |

**お願い**

- ●荷物の運搬には、バスケット以外は使用しないでください。
- ●最大積載質量以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはバスケットなどが破損するおそれがあります。

## ■リヤキャリヤについて

⚠警告

**■リヤキャリヤに荷物を積まない**

禁止 破損によるけがのおそれがあります。

**お知らせ**

●この自転車のリヤキャリヤは幼児の運転補助用です。荷物の積載やチャイルドシートの取り付けはできません。

## ■どろよけについて

⚠警告

**■どろよけを持って持ち上げない**

**■どろよけの上に座らない**

禁止 どろよけが変形して、転倒によるけがのおそれがあります。

## お 手 入 れ

### ■日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

### ■汚れがひどいとき

●水洗いし乾燥させたあと、各部に注油してください。
●注油禁止場所には注油しないでください。（☞ 19ページ）

### ■塗装部（フレーム体など）

●乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

### ■めっき部

●乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

### ■樹脂部

●乾いた布でほこりをとってください。

### ■次のような場所では、

〈湿気の多い場所・海岸沿い・工場地域・エアコンの室外機のそば・自動車の排気ガスのかかる所・鉄道の線路際など〉
●さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

### ■ステンレス部品

●ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
○ステンレスに付着した鉄粉などが、さびることによって「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。（例：鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品など）
○ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いたあとでもさびが発生しますので、水を含ませた布などでしっかりふき取ってください。

**お願い**

●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、ガソリンなどの石油類薬品、酸性・アルカリ性の洗剤などは使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されたりします。）
●サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、滑ります。）

## 注 油 に つ い て

**⚠警告**

### ■リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油脂類を付けない

禁止

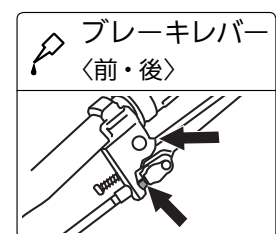
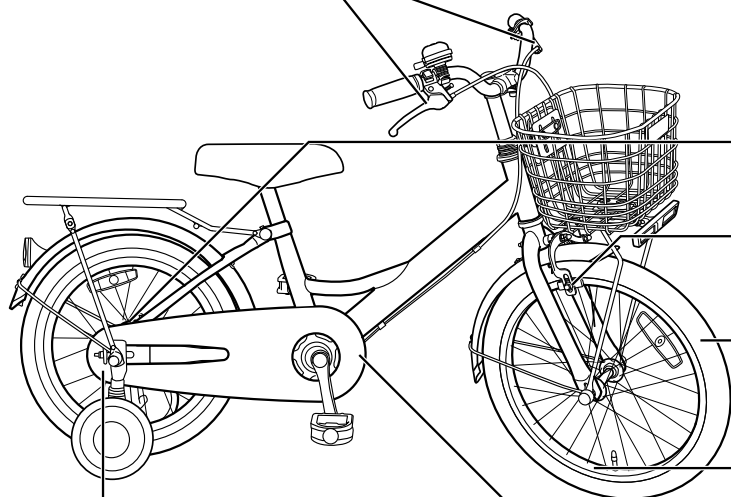
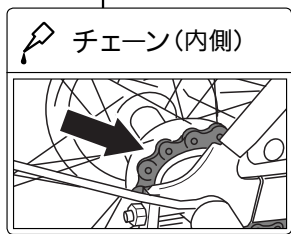
ブレーキが利かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

## 注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。

このマークは、注油禁止場所を示します。

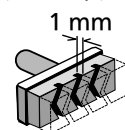
**お願い**

●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。
●オプション部品についても、同様のメンテナンスをお願いします。

## 定期点検

**■定期点検は、必ず実施する**

異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。

**■部品の交換は、次の基準で実施する**

●ブレーキワイヤは、異常が無くても 2 年に 1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面(トレッド) の溝がなくなるまえに交換する。
●ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mm になるまえに交換する。
●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが利かなくなり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回 (2 か月以内) 点検と、6 か月ごとの定期点検の実施をお願いします。(裏表紙の点検・整備チェックリストにて実施をお願いします。)

### ●初回 (2 か月以内) の点検と整備

お買い上げ 2 か月ぐらいのご使用で、各部にねじの緩みが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士 (自転車組立整備士)、もしくは同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

### ● 2 回目以降 (6 か月ごと) の点検と整備

安全にご愛用いただくため、必ず継続してお受けください。





## 保管/廃棄

**■ 保管場所は、**

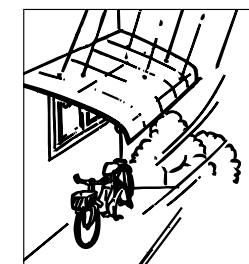
●安定のよい所、直射日光が当たりにくい所、雨がかかりにくい場所に保管してください。
●雨がかかる所では、市販の「サイクルカバー」のご使用をお勧めします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整の上、ご使用ください。

**■廃棄するときは、**

●自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

**■タイヤの管理**

●空気を適正空気圧まで入れてください。(☞ 14 ページ)

# 盗難補償／アフターサービスについて

## 盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、本体希望小売価格（税抜）の 60％の負担で同一車種または同等の車種をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記のとおりです。※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません。

ご購入時、CLUB Panasonic にてご愛用者登録をいただくか、ご愛用者登録はがきに必要事項をご記入の上、パナソニック サイクルテック愛用者登録係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償が受けられます。

（1）盗難補償の期間と範囲
お買い上げの日から1年間以内の自転車（別売部品などを含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の申し込み要領
万一、盗難にあわれたときは、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税抜）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。追って、販売店から新車をお渡しします。
※本体希望小売価格には消費税は含まれておりません

（3）盗難補償できない場合
①施錠せず盗難にあった場合　②（2）の書類がそろわない場合
③補償期間が過ぎている場合　④盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
⑤防犯登録がされてない場合　⑥盗難車が見つかり、返ってきた場合
⑦景品などの贈呈品の場合　⑧愛用者登録をされていない場合

**ご注意**

●生産などの都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。



必要なとき



# 自転車安全基準／BAA マーク

この自転車は（一社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

## 自 転 車 安 全 基 準

「自転車安全基準」は、（一社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

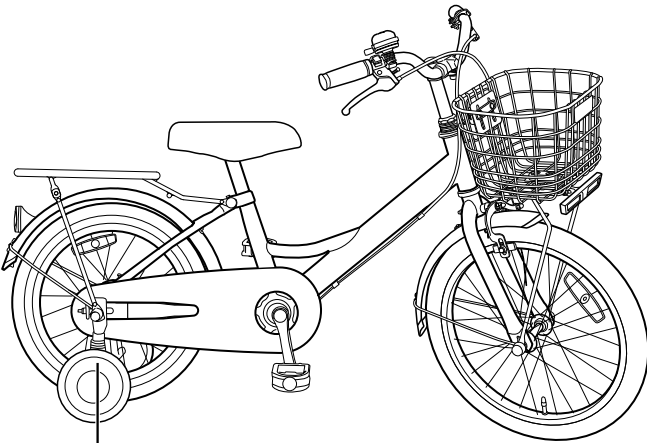
## B A A マ ー ク

「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼り付けられています。
※ BAA= 自転車協会認証 -BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

必要なとき

# オプション　別売部品

## 取り付けのポイント

- 安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
  （当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
- オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取り付けの際に、販売店にご確認ください。
  （掲載している品番は 2014 年 3 月 現在のものです。）
- 価格など詳細については、販売店にご相談ください。

スタンド
両立スタンド
B-ANK61…SCS014
B-ANK81…SCS015
※補助車輪を外さないと取り付けできません。

# 仕　様

| 品　番 | | B-ANK61 | B-ANK81 |
|---|---|---|---|
| 寸法 | フレームサイズ | 230 mm | 260 mm |
| | 全　長 | 1,168 mm | 1,245 mm |
| | 全　幅 | 500 mm | |
| | ハンドル高さ | 665 mm ～ 695 mm | 715 mm ～745 mm |
| | サドル高さ | 470 mm ～ 590 mm | 500 mm ～ 620 mm |
| フレーム | | N 型 | |
| ハンドルバー | | 中上がり | |
| バスケット | | ロッドコーティング | |
| サドル | | シートポスト直付サドル | |
| 前後ブレーキ | | 前 : サイドプル式キャリパーブレーキ／後 : バンドブレーキ | |
| チェーンケース | | 中抜き全半面ケース | |
| リフレクター | | 後どろよけ・前後車輪・バスケット下・ペダルに取り付け | |
| リ　ム | | 16 × 1.5 HE アルミ | 18 × 1.5 HE アルミ |
| タイヤ（前後） | | 16 × 1.5 HE | 18 × 1.5 HE |
| オプション | | 両立スタンド | |
| 乗車適応身長 | | 102 cm ～ 118 cm | 106 cm ～ 122 cm |
| 質　量 | | 12.9 kg | 13.3 kg |

- 乗車適応身長は両足のかかとが地面にべったり着地できる身長を指します。
  （☞ 2 ページ ■保護者の方にお願い）
- 乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
- 寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更などにより、誤差が生じる場合があります。
- この車種は、乗員体重を 20 kg で基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

## ■寸法について

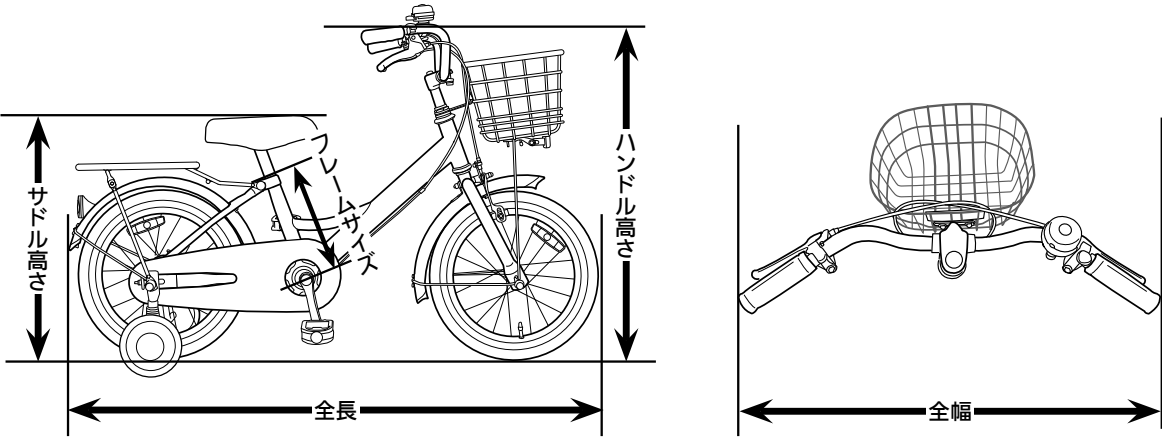
# 〜メモ〜

使いかた・お手入れ・修理などは
**■まず、お買い上げの販売店へ**ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

| 販売店名 | |
|---|---|
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 電話 | （　）　ー |
| 品番 | |
| 車体番号 | |
| キー番号 | |
| 防犯登録番号 | |

**■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。**

**●使いかた・お手入れ・修理などに関するご相談は**……………………………………
※ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

商品に関する、**お客様ご相談窓口** 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル **0120-781-603**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合
**(072)977-1603**(有料ダイヤル)におかけください。

**■取扱店や展示店のご紹介など、販売店に関するご相談は、お住まい近くの支店相談窓口が承ります。下記地域外のお客様は、フリーダイヤルへおかけください。**

**●各地域の支店相談窓口**（営業時間／9:00 ～ 17:00）土・日・祝日・弊社指定の休日を除く
※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
※所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

**東北地区**（青森・岩手・福島・宮城）
東日本支店　（022）382-7791

**埼玉・群馬・栃木・茨城・新潟地区**
東日本支店　（048）723-5131

**東京・千葉・神奈川・山梨地区**
首都圏支店　（042）490-5545

**中部・東海地区**（愛知・静岡・岐阜）
中部支店　（0587）54-4111

**近畿地区**（大阪・兵庫・奈良）
近畿支店　（072）975-4100

**中国地区**（広島・岡山・山口）
中国支店　（082）870-7776

**九州地区**
九州支店　（092）671-8648

**愛情点検**　定期点検をし、安全走行をしましょう！

| こんな症状はありませんか | ●異常な音がする<br>●がたつきや緩み<br>●車輪の振れ<br>●ブレーキの利きが悪い | ▶ | ご使用中止 | 事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。 |
|---|---|---|---|---|

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。